

Wの悲劇

[1984年 角川春樹事務所]

[スタッフ]

原作	夏樹静子
脚本	荒井晴彦
脚本・監督	澤井信一郎
撮影	仙元誠三
照明	渡辺三雄
録音	橋本文雄
音楽	久石譲
美術	桑名忠之

[出演者]

三田静香	薬師丸ひろ子
森口昭夫	世良公則
羽鳥翔	三田佳子
菊地かおり	高木美保
宮下君子	志方亜紀子
五代淳	三田村邦彦
嶺田秀夫	清水紘治
安部幸雄	蜷川幸雄
堂原良造	仲谷昇
芸能レポーター	梨元勝

(カラー／アメリカン・ビスタ／モノラル／109分)

デビュー作『野生の証明』(1978、佐藤純彌監督)で13歳にして一躍トップアイドルになった薬師丸ひろ子が、感情の微妙な動きまで熟視した長回しによる演出のなかで、大人の役者への新境地を開いた作品。その年の映画賞を多数受賞し、澤井信一郎監督の代表作にもなった。劇団の若い研究生が、看板女優からスキャンダルの身代わりを引き受けたことから、舞台「Wの悲劇」の主役の座を得る。夏樹静子の原作を劇中劇にし、薬師丸ひろ子とヒロイン、ヒロインが演じる劇中劇の少女の三者を重層化した脚本の妙や、蜷川幸雄をはじめ多数の演劇人や芸能リポーターの梨元勝らの登場など、虚構と現実を融合させた濃密な演出が高く評価された。薬師丸ひろ子が歌う主題歌も大ヒットした、1980年代日本映画を代表する一本。